資料1

第9回総合計画策定検討部会での意見とその対応

整理番号	該当項目		意見等の内容	事務局の対応
1	4. 政策分野別の重点施策	指標	「耕作放棄地の解消面積」を示しても、一方で新たに別の耕作放棄地が増えている場合、トータルとして耕作放棄地が減ったか見えにくいことから、「耕作放棄地の面積」を指標とすべき。	全体の耕作放棄地面積は農林業センサスに基づいて、5年に1回の調査で次回は平成22年度に実施する予定であり、単年度で達成状況を把握できない状況です。 このため、指標としては、「耕作放棄地の解消面積」を設定することとしますが、農林業センサスの調査結果が公表される年度の進行管理において「耕作放棄地の面積」を示すこととしたい。
2	4. 政策分野別の重点施策	重点施策の推進によってめざす5年後の姿	第4章の冒頭部分の記載について、主な指標に基づいて文章を作っていると思うが、文章の内容と指標の内容が一致していないところが見受けられるので、工夫が必要ではないか。	資料3のとおり、御指摘を踏まえて修正しました（「・・・全国平均を上回るなど、子どもたちが確かな学力を身につけるとともに、思いやりの心や社会性を備えて、・・・。」、他）。
3	6. 計画の推進のために	県民運動の展開	「計画の推進のために」の「2県民運動の展開」で「本計画の実現を目指すため、県全体で新“うつくしま、ふくしま。”県民運動を展開していきます」とあるが、唐突な感じがする。 これは、県民運動の位置づけの問題ではないかと思うので、位置づけを整理すべき。	県民運動は「県民の知恵と行動を結集して行う地域の問題解決に向けた取り組み」という理念のもとに進めていくものであり、計画全体を県民とともに進めていく重要な手法として位置づけ、第6章の中で、「1　計画の推進に当たっての考え方」に続く位置に独立した項目として記載しています。
4	6. 計画の推進のために	重点プログラム	重点プログラムの名称はもう少し短い方がよいのではないか。 分かりやすいので、このままでよいのではないか。	プログラムの中身を説明するため、計画本体では、この原案の名称を用いることとし、概要版等では、県民への浸透を図るため、簡略化した名称を用いることとしたい。